

—◆◆◆—.....—◆◆◆—  
2012.9.6 (vol.34)

高校教育課 情報メール

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>  
—◆◆◆—.....—◆◆◆—

今年度第5号のメールマガジンをお届けします。

受験を控えた中学生へ県立高等学校の魅力ある取組など有意義な情報をお伝えしますので、ご活用ください。

今回は12の高校から、それぞれ特色ある情報が届きました。受験する・しないにかかわらず是非ご一読下さい。何かヒントが見つかるかもしれません。

公立高校ガイドブック、前期選抜入試に必要な志願理由書、平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧などの情報は、上記の高校教育課のホームページを御覧ください。

<それぞれの公立高校ホームページはこちらから>

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

—.....—  
■ もくじ ■  
—.....—

1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について

(1) 公立高校文化祭日程一覧

2 高校の特色ある取組（各高等学校からの情報）

(1) 大河原商業高等学校

<大商ブランド ビジネスにおけるスペシャリストの育成>

(2) 宮城野高等学校

<一人ひとりが輝く活動>

(3) 一迫商業高等学校

<スペシャリストへの道筋 ～教育課程の特色～>

(4) 石巻北高等学校

<実践道場「と・ら・ま・い」>

(5) 志津川高等学校

<東日本大震災からの復興を地域とともに>

3 学校紹介スペシャル（各高等学校からの情報）

(1) 亘理高等学校

<夢，はばたく 心，ときめく 瞳，かがやく>

(2) 涌谷高等学校

<★つなげ！明るい未来へ 涌谷高校★>

(3) 田尻さくら高等学校

<学校は 楽しいところ さくら咲く>

#### 4 コラム（各高等学校からの情報）

- (1) 泉松陵高等学校 生徒会長 小野塚 哲人  
＜学校紹介＞
- (2) 水産高等学校 教諭 青木 朝枝  
＜ My Revolution ＞

#### 5 お知らせ（各高等学校からの情報）

- (1) 名取高等学校 主幹教諭 保原 恒雄  
＜「文化祭」の案内＞
- (2) 泉館山高等学校  
＜お知らせ＞

#### 6 編集後記

---

### ■ 1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について ■

---

メールマガジン以外にも、公立高校のさまざまな情報を提供していきます。

#### □（1）公立高校文化祭日程一覧

今年もすでに公立高校の半数以上の学校で文化祭が開催されました。今後は10月に開催される学校が多くなります。是非足を運んでみて下さい。生徒が中心となって、文化部のステージ発表や展示発表、模擬店の開催など、各学校とも趣向を凝らしたイベントが行われます。普段の学習生活だけではない、校内での活動を知る絶好の機会です。

高校教育課のホームページに、開催日時の一覧を掲載しています。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2012manabi/Bunkasai List.pdf>

---

### ■ 2 高校の特色ある取組 ■

---

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

#### □（1）大河原商業高等学校

｜ <大商ブランド ビジネスにおけるスペシャリストの育成>

本校では、教養とマナーを備え、地域社会に貢献し、ビジネス界で活躍する人材を育成します。具体的には下記の様な取り組みをしています。

○基礎学力の定着→教科科目毎にTTや習熟度学習の他、週末課題や就職過去問題の取り組みや朝読書を実施しています。

- キャリア教育の推進→社会人講師数十名でのセミナーやインターンシップなど系統的な指導を通し、勤労観・職業観を育てています。
- ビジネスマナーの育成→8と6の日（ハローの日）の朝に校門で挨拶運動やJR大河原駅・通学路でマナーの呼びかけをしています。
- 資格取得の推進→月間確認テストなどを実施し、商業関係を中心とした上級の資格取得に取り組んでいます。
- 部活動の活性化→運動部・学芸部とも活発で、東北大会・全国大会へ多数の部が参加しています。運動部での合同基礎トレーニングなどを実施しています。

※その他

商品開発では、地元大河原町の梅（町木）を活用した、あめ・ゼリー・ラムネ・ポテトチップスを商品化し、ゼリーは県内、あめ・ラムネは東北地方生協、ポテトチップスは東北・信越地方の量販店で販売しています。

→<ホームページはこちら> <http://ogs.myswan.ne.jp/>

□（2）宮城野高等学校

| <一人ひとりが輝く活動>

○創造的活動

本校では生徒が自主的に様々な活動を立ち上げ、積極的に運営していきます。「宮城野の自由」を体現する、生きた実践の場です。「校内ボランティア」は、学校生活をよりよくしていくために生徒が自ら立ち上げて運営する組織です。特に行事ボランティアの活躍は目を見張るものがあり、活発に活動して行事を成功に導いています。「サークル」は運動系や文化系など、多様な団体が28サークルも立ち上げられています。いくつかのサークルを掛け持ちできるので、様々な活動が可能です。

○徹底した学力サポート

知識を拡大し深めていくこと、それが思考力を育成するための第一歩です。本校ではこれを学びの土台としてとらえています。多様な選択科目で、興味関心や進路にマッチした学習が可能です。宮城野高校の質の高い授業は確かな力を育み、進路希望実現を強力にサポートします。また、少人数授業やティームティーチングで丁寧な授業を行います。放課後学習でもきめ細やかに対応します。

○インターカリキュラム

各教科での学びを結び付け、様々な実践を通じて授業だけでは得られないより深い理解力と課題解決力の育成を目指します。「産業社会と人間」、「フロンティアタイム」や「プロジェクトスタディ」では、まず課題解決の手法を身に付けます。次に実社会や学問領域に視野を広げ、現代の諸課題を調査・研究・発表します。さらに、特別講座では大学や研究所・企業の第一線で活躍されている方々との交流を通じて生きた体験を行います。毎年数多くの講座が設けられます。

- ◎ 11月13日（火）～18（日）第16回美術科卒業制作展「ゆめゆめ」を宮城県美術館で開催します。入場は無料ですので、是非とも足を運んでください。

→<くわしくはこちら> <http://miyagino.myswan.ne.jp/>

□（３）一迫商業高等学校

| <スペシャリストへの道筋 ～教育課程の特色～>

---

7月号では、「資格取得と起業家教育」についてお知らせいたしました。今回は、教育課程（いわゆるカリキュラム）の特色について簡単に述べたいと思います。

【流通経済科】

流通業界等の仕事に役立つ基本的な知識・技術について流通経済関係科目を通して学習します。さらに商業全般を学習し、将来の就職の際にも役立つ接遇・マナー等を身につけた商業人の育成を目指しています。また、教科履修を通じて、各種検定資格の取得ができます。特にこの学科では日本商工会議所の販売士の資格取得を目指しています。

【情報処理科】

情報処理関係科目の履修時間を多くし、コンピュータ、ワープロ等の学習を通して、システムエンジニア、プログラマ等の情報処理技術を身に付け、中堅情報処理技術者の育成を目指しています。また、教科履修を通じて、各種検定資格の取得ができます。特に、情報処理、ワープロ等の情報処理関係の資格取得を目指しています。

→<ホームページはこちら> <http://ichisho.myswan.ne.jp/>

□（４）石巻北高等学校

| <実践道場「と・ら・ま・い」>

---

○食農系列3年次生

農産物の生産・加工・販売までの全ての行程を生徒が行うお店です。主に、私たち食農系列と教養系列が生産・加工をして、家庭系列が商品を入れるエコバッグを製作し、経情系列が会計を担当しています。中でも、生徒が作った米粉パンが一番人気です。他にも、野菜の苗や花・生徒オリジナルのソースや豆腐など販売しています。基本的に毎週水曜日が開店日なので、常連のお客さんなどは、開店前に並んで楽しみに待っています。開店の際は、太鼓の音で活気づけ、生徒みんなが一致団結してお店の運営にあたっています。地域の方々が必要とされ、私たちもやりがいと嬉しさを感じます。

○経情系列3年次生

本校は石巻地区では唯一の総合学科の高校です。そのため2年次以降、進路に応じて食農・家庭・経情・進学・教養の五つの専門系列に別れて勉強します。今年度5月に校内にオープンした「交流ひろば販売所『と・ら・ま・い』」は普段別々に勉強している五つの専門系列が一つになり、力を合わせて活動している活動場所です。私の選択している経情系列は、「と・ら・ま・い」の開店日には商品の会計を担当しています。今後は、広告活動やポスター作成、商品開発等での参加を準備中です。

「と・ら・ま・い」の活動に参加して授業の大切さを実感しています。

→<ホームページはこちら> <http://ishikita.myswan.ne.jp/>

## □（５）志津川高等学校

｜ <東日本大震災からの復興を地域とともに>

志津川高等学校は、宮城県内で唯一、地域連携型中高一貫教育を行っている高校です。連携している志津川中学校、戸倉中学校、歌津中学校とは、「中高相互乗り入れ授業」などで、密接な関わり合いがあります。５月には、高校の教員と連携中学校の教員全員が志津川中学校に集まり「中高合同全体会」を行いました。地域の生徒の成長を中学校、高校の教員みんなで見守っています。就職から大学進学まで、幅広く進路実現を行うことができる学校です。

さて、志津川高等学校では、現在、情報ビジネス科が中心となって「南三陸モアイ化計画」を推進しています。志津川高等学校のある南三陸町は、５２年前のチリ地震大津波からチリ共和国と友好的な関係にあります。松原公園にあったモアイ像をモチーフとして地域の活性化を進め、南三陸町のいいところを全国に発信しているのが、「南三陸モアイ化計画」です。また、防災のシンボルとして活用もされています。この活動が、全国から共感を得て、さらには多くの企業も注目するところとなっています。

東日本大震災からの復興を地域とともに実践しているのが、志津川高等学校です。興味がある方は、まずはホームページをご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://sizugawa-hs.myswan.ne.jp/>

## ■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

## □（１）亘理高等学校

｜ <夢， はばたく 心， ときめく 瞳， かがやく>

本校は、今年創立１１４年目を迎えた県内屈指の伝統校です。明治３１年、郡立亘理簡易養蚕学校として開校以来、時代の変化に伴って校名や教育内容の幾多の変遷を経ながら、「質実剛健」「勤勉力行」の校訓のもと、常に地域の文化・教育の拠点として、これまで約１７，０００名に及ぶ有為な人材を輩出し、卒業生は、地元亘理町・山元町はじめ、全国各地において活躍しています。

普通科（普通コース）：普通教科の学習に重点を置き、豊かな教養と知識を習得し、大学・専門学校への進学や就職を目指します。

普通科（園芸コース）：普通科として学習しながら、草花や野菜などの実習をとおして土に親しみ、生産・環境の大切さを学びます。

食品化学科：食品の分析や製造を通して食品管理や食品製造のプロとしての知識・技術および態度を学びます。

商業科：商業の多様な活動、および基礎基本となる知識と技術が習得でき、これらの業務に従事する能力と態度が養えます。

家政科：家庭・社会生活の中で、家政や福祉に必要なとされる知識や技術を勉強します。２年次からは被服、調理、家庭看護・福祉のコースに分かれ、より専門的に学び進路の目標達成や資格取得を目指します。

■生活目標■ ～ 愛しつつ 働きつつ 考えつつ ～

→<ホームページはこちら> <http://watari-h.myswan.ne.jp/>

<学校だよりははこちら> <http://watari-h.myswan.ne.jp/sub-tayori.html>

□（２）涌谷高等学校

| <★つなげ！明るい未来へ 涌谷高校★>

<学校の概要について>

涌谷高校は1919（大正8）年に遠田郡立涌谷実科高等女学校として創立され、今年で93年目を迎える学校です。「質実・勤敏 謙譲・優雅 自律・協同」の校訓のもと、現在は普通科各学年4クラスで、約450名の生徒が進路実現や自分自身と社会の「明るい未来」に向かって、学習、部活動、ボランティア活動などに励んでいます。

<教育課程の特色>

多様な学力を有し、心身共に健全で調和の取れた人間形成のために、教育課程には次の様な特徴があります。

○1・2年次には基礎科目を多く取入れ、幅広い教養と実力の養成を目指します。

○進路実現に向け、2年次から進路に合わせた選択科目を導入し、3年次には類型に分かれ、その中でも進路希望に合わせた科目が選択できます。

<学力の充実に向けて>

涌谷高校では、日常の50分×6コマの授業に加え、基礎学力の養成と学習習慣の確立を目的として「栄冠トレ」を実施しています。これは「栄＝英単語」と「冠＝漢字」について、週間課題や週末課題と朝学習の小テストなどを組み合わせて実力養成し、年間3回ある「栄冠検定」でその実力を確認するという取組です。また学力の養成に向けて、外部講師などを活用した「強化勉強会」、進路対策のための課外講習などを実施し「学ぶ意欲」をサポートします。

<高校生活の充実に向けて>

涌谷高校は、部活動も盛んです。運動部では今年も男子新体操部が個人で全国高校総体に出場しました。また高校総体優勝経験のある女子ハンドボール部、昨年県新人大会で3位になった女子ソフトボール部など実力ある部活動がそろっています。文化部も、2年連続で東日本学校吹奏楽大会（全国大会）に出場した音楽部、また書道部、美術部も全国高校総合文化祭に出展経験があるなど活動が盛んです。

<インターンシップやボランティア活動などの社会体験活動について>

涌谷高校では「総合的な学習の時間」の中で職業体験（インターンシップ）や上級学校の模擬講義などが行われ、社会の中での生き方・在り方を考える時間があります。また、生徒会を中心にした「涌高ふれあい隊」をはじめ多くの生徒が、地域のボランティア活動に取り組んでいます。

→<ホームページはこちら> <http://wakuya-h.myswan.ne.jp/>

□（３）田尻さくら高等学校

| <学校は 楽しいところ さくら咲く>

本校は、平成20年4月に二部制昼夕間開講型単位制高校として県北部に開校さ

れ、一人ひとりの生活スタイルに応じることができる全日制・定時制の枠を超えた柔軟な学びのシステムを持つ新たなタイプの高校です。

生徒が自由な雰囲気の中で、のびのびと高校生活を送り、自分を見つけて磨き、社会や上級学校に飛躍していくことを願って設立されました。

本校には、クラスや学年、制服がなく、時間割も自分の興味・関心、適性・特性、進路希望等に応じて個人ごとに作っていきます。

社会のルールが本校のルールであり、こうした自由な雰囲気の中で、自分の夢に向かって、自分で考え、自分で行動する「大人の学校」なのです。

二部制昼夕間開講型単位制高校ということで、定時制高校に分類されますが、必修科目を含め74単位以上修得すれば3年間で卒業できます。

「学校は 楽しいところ さくら咲く」のごとく、生徒一人ひとりが明るく元気に生活できる学校を目指しています。

→<ホームページはこちら>

<http://tajiri-hs.myswan.ne.jp/cms/htdocs/index.php>

---

### ■ 3 コラム ■

---

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ (1) 泉松陵高等学校 生徒会長 小野塚 哲人

| <学校紹介>

県民の森に囲まれた緑豊かな泉松陵高校では、その自然豊かな環境の中で充実した高校生活を送ることができます。

グラウンドでは野球部をはじめとする屋外の運動部が、体育館・武道館では屋内の運動部が日々爽やかな汗を流し、特別教室などがある南校舎では文化部がそれぞれの活動に精力的に取り組んでいます。

部活動だけが活発な訳ではありません。進学校でもある本校は高校入学時の偏差値は平均的なものの、近年4年制大学への進学率上昇は目を見張るものがあり、県内でも高い現役合格者を誇っています。

その秘密は一日65分5時間の授業スタイル、二週間に一度の定着度テストPT(パワーアップタイム)テストなどの他校には見られない独自のカリキュラムと進路部の先生方による分かりやすい進路説明会、レベルアップを目的とした課外講習などにあります。そして、それらが有効に結びついて本校生のやる気を向上させ、確実な進路達成へと導いてくれます。

本校には松陵祭などたくさん楽しい行事があります。この泉松陵高校で楽しく充実した高校生活を送ってみませんか。在校生一同皆さんの入学を心よりお待ちしております。

→<ホームページはこちら> <http://shoryo.myswan.ne.jp/>

□ (2) 水産高等学校 教諭 青木 朝枝

| < My Revolution >

「これから大学に進学してもボランティアを続けます。そしていつか日本赤十字社の社員になりたいです。」—タイから帰ってきた彼の顔は真剣で、満足感に満ちていました。

彼は1年生からJRC（青少年赤十字）に所属していましたが、当初は、積極的に行動するタイプではありませんでした。彼の口癖は「なんでもいいじゃないですか」—そう、受け身だったのです。

そんな彼に自分を大きく変える転機が訪れます。それは、2ヶ月に渡る航海実習でした。狭い船中で生活することは、お互いを気遣うこと、思いやること。そして、自分がいま何をすべきか考え行動すること。様々なことを学んで帰港した彼には、受け身の姿はありませんでした。やはり、“海は少年を漢にする”という言葉には嘘はありません。

そして、今年8月。2つ目の転機が訪れました。青少年赤十字の国際交流事業に宮城県代表としてタイへ派遣されたのです。現地で、タイ赤十字社スタッフをはじめ、多くの方々から熱烈に歓迎されたことが彼の心を変えるきっかけとなりました。“人のために行動するのが当たり前、無償の愛を与えることが最上の喜び”という「赤十字の理念」と「タイという国が持つ精神文化」を織り交ぜた丁寧なおもてなしに触れ、彼の心の中にあつたこれまでの赤十字活動への考え方がガラリと変わりました。それから、“本当の意味での赤十字活動”とは何か、ということを実際に考えるようになりました。

これまでは、“自分がやってあげたことを、同じように相手にもして欲しいという願望、そして、たくさん感謝されたい”という考え方が心のどこかにあつたようです。それからは、「相手はいま、何を最も望んでいるのか。どうすればそれを相手が気兼ねしないように提供できるか」という考えに変わり、彼なりの“無償の愛”が芽生えました。

高校では、様々な経験ができるチャンスがたくさんあります。確かに彼が海外で貴重な経験が出来たのも偶然の巡り合わせだったのかもしれませんが、しかし、その機会を見逃さず、“とにかくやってみよう”という気持ちを持つことで、今まで知らなかった新たな世界を見て、自分を成長させ、自分の夢を明確にし、結果的に自分を変えることができるのではないのでしょうか。— My Revolution —心配は多々あるけれど、「まずは行動から」です！

→<宮水で My Revolution ! ヒントはココにある! >

<http://miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

#### ■ 4 お知らせ ■

高等学校からのさまざまなお知らせのコーナーです。

□ (1) 名取高等学校 主幹教諭 保原 恒雄

| < 「文化祭」の案内 >

9月8日(土)に文化祭(名高祭—めいこうさい)が、



「～盛り上がってるけど どおするう!？」をテーマに行われます。一般公開は午前9：00から午後14：00までです。

校舎教室での展示・発表は、各文化部の日頃の活動成果をご覧いただけるほか、茶道部によるお茶会や華道部のフラワーアレンジメント販売、生徒会執行部による「ナトニン（名取高校のマスコットキャラクター）缶バッチ」の販売など他にも盛りだくさんの内容です。また全日制PTA・定時制PTA主催によるバザーも行われ、毎年好評を博しています。さらに各クラスが工夫を凝らして作製した「クラス壁新聞」や「クラス旗」の展示もあり、こちら是非ご覧いただきたいと思っております。

ステージ発表は、体育館で午前9：00から吹奏楽部の発表でスタートします。9：50からは合唱部、毎年恒例家政科3年生による手作りの衣装によるファッションショーは10：30から、そしてスペシャルゲスト・歌手の「SHIORI」さんによるイベントが11：00から行われます。11：50からは演劇部による発表、13：00からは1年生によるダンス披露、トリをつとめるのは県総体で見事優勝した体操部の新体操団体演技が13：30から行われます。

コラムをご覧の皆様、9月8日は是非名取高校へおいで下さい。皆様のおいでを生徒・職員・PTA心からお待ちしております。

※なお本校には駐車スペースがございませんので、一般交通機関等をご利用の上ご来校下さい。よろしく願いいたします。

→<ホームページはこちら> <http://natori-h.myswan.ne.jp/>

## □（２）泉館山高等学校

┆ <お知らせ>

### 1 第2回授業公開について

今年度も中学生（9日・10日のみ）、中学生の保護者、中学校の先生方、本校生の保護者対象に「授業公開」を行います。授業は全て公開し、普段の授業を見ていただきます。期日・時間・内容については次のとおりです。

（１） 期 日 平成24年10月9日（火）から10月15日（月）の5日間

（２） 時 間 10月 9日（火）～11日（木）

1校時～6校時（8：50～15：15）

\*中学生は9日・10日のみ

10月12日（金）1校時～4校時（8：50～12：40）

10月15日（月）1校時～6校時（8：50～15：15）

（３） その他 中学生とその保護者の皆さんは、事前の申し込みの必要は特にございませぬ。問い合わせは、下記にお願いいたします。

泉館山高等学校 電話022-378-0975 教務部

多くの皆さんの来校をお待ちしております。

### 2 創立30周年について

本校は今年、創立30周年を迎えました。校訓「自律」「敬愛」「貢献」のもとこれまで歩んできました。これからも、新たな歴史と伝統づくりに生徒・職員一丸となって勇往邁進していきます。10月5日（金）午後1時より、創立30周年記念式典が東京エレクトロンホール宮城を会場に挙行されます。その後、創立30周年記念「芸術鑑賞」で、琵琶奏者熊田かほりさんの演奏が行われる予定です。

→<ホームページはこちら> <http://izumit-h.myswan.ne.jp/>

---

## ■ 5 編集後記 ■

---

夏季休業が終了し、学校が再開しましたが、まだまだ暑い日が続いております。暑さに負けず、規則正しい生活を維持し、体力を落とさないことが何よりも重要になります。体力が落ちると、集中力もなくなります。これからの時期は勉強の合間に適度の運動を実践して下さい。

また、多くの高校で開催されたオープンキャンパスもほとんどが終了しました。いろいろな情報を得ることが出来たと思います。しかし、それを活用するのは自分自身ですので、高校入試に向けて後悔のない時間を過ごすことを願っております。

これからも各高校の様々な情報をできる限りお伝えしたいと考えておりますので、「高校教育課 情報メール」をよろしくお願ひします！

◇◇◇高校教育課 情報メール（メールマガジン）◇◇◇

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696

---